

周望学舎がわら版

第2号

平成26年

10月

発行
周望学舎
新聞編集
委員

創立三十五周年記念

周望学舎大学祭 大盛況

去る十月四日(土)から2日間にわたり、毎年恒例の大学祭が開催された。

周望学舎の研修生は、この日のために長い期間かけ学習成果の展示物の企画をたて、演芸大会の練習をし、大学祭の準備をしてきた。

当日、来場者は玄関まで花と野菜づくりコースによる寄せ植えの花々に迎えられた。館内ロビーは、生活情報コースの地産地消の学習成果としての地元野

菜の販売でにぎわった。さらに、ウォークラリーをしながら各コースの展示物を見学することができた。大研修室では、コーヒーを飲みながら研修生同士でおしゃべりを楽しんでいた。そして、体育館での研修生による演芸大会が一番の盛り上がり

で、上演を楽しむ人はもちろん、日頃の練習や出場前の緊張感さえ楽しむ人も多かった。研修生は大学祭によって結束力をつけ、後期の学習に取り組むであろう。

五年振りの中学生

ふるさとの文化

中村 隆行

周望学舎創立三十五周年の記念の節目に投稿の機会を得て感謝申し上げます。

さて、私の学舎との縁は、在職中何度か講師として来校しましたが完全にタイアし、行場がなく、運良く平成十五年に初入学して六年間通学し、小学校の全過程を終了しました。

その後は、趣味のソフトボール・卓球・史跡めぐりなどと多様な日々を送っていました。が、昨年の大学祭の見学を機に再入学を決めました。今は「大学祭」の準備に全員一丸となって取り組み、クラスの絆が深まり、毎日が楽しく過ごせています。

これからの人生も「日日是好日」と願いつつ！



ジャイカの研修に参加して

国際情報 鈴木 蘭子

一寸大袈裟？日本人の優しさは度々マスコミで取り上げられます。貧しい国や危険な地域でジャイカ(国際協力機構)の海外協力隊は厳しい支援任務を果たしています。

研修の講師は話しながら輝いていました。例えば、講師が現地で採血を受けた時手の甲に針が刺さり、その血が受け皿に落ち、針を抜いたらポタポタ血が地面に落ちて、激痛が走ったと云う…。聞いていた私の手までが痛むようでした。この一件で、他の事も推し量れそうです。

ジャイカの一員になる為には一次・二次試験、語学力(英語・仏語・西語)と次々に難関があり、現地ボランティアに合格するのは並ではないようです。それだけでも日本人の優しさはやはり本物でしたと納得でき、確信して研修場を後にできました。ジャイカの人たち、日本の為に有難う！



エンジョイ!! 学舎生活



周望学舎入学の印象

写真入門 佐々木 八郎

三十二名の方々が写真入門コースの教室に入られ、一斉に写真撮影技術の勉強を始められた現実に浴し、私の印象を文章にしてみました。

三十二名が一つの目的で一つの教室に集まった。年齢(よわい)を重ね大いなる経緯(いきさつ)と深い過去を擁して、写真研修のスタートラインに全員一列に並んだのだ。その時わたくしは、怒涛を一つの波形に終末させる夢想をした。

もっと知りたいアジア

アジアを学ぶ 西野 加代子

アジアの同じ民族として政治、経済、文化など多様な国の違いを学ぶことにより、アジアを知る突破口になることを期待しているところです。

それと同時に世界はグローバル化しているの、一国では成り立たなくなっているのも確かです。日本の人口減少により、国そのものの存在が成り立たなくなってきたのも大きな問題です。

あらゆる国で災害や紛争が多発している現在、自分の足元をしつかりと見つめることが大切だということを痛感しています。

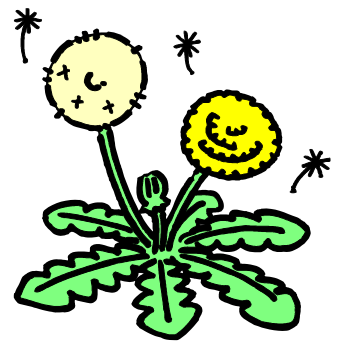
これからの講義が楽しみでもありません。



来る春が楽しみだ

書道入門 植木 淳介

人生良くも悪くも一度きり。書く事に興味を持った集団の中で、震える手で墨池にたっぷり注がれた墨液を筆の穂全体で受け、白い半紙に對峙すると「ポタッ」と墨が一滴垂れる。ノープロブレム。集中だ。たどたどしく筆を走らす。課題を書き終えると「ホッ」と溜め息が出る。たまたまなく至福の時であると共に落胆と反省ばかりなり。画一的な現代の印刷文字に抵抗し、自分の求める書の頂を目指し、一筆一筆に心を込め、新たな青春の日々が躍動する。自分自身の書で生涯の幕を降ろすためにも。久米先生の「上手くなる」とのお言葉を信じ、ひたすらに、がむしゃらに書く。春が楽しみだ。



周望文壇



○もうすこし居ようね岬夕焼けて

アジアを学ぶ 青木 英樹

○再雇用昔の部下に説教され

花と野菜づくり 仲道 弘起

○肩をくみスポーツ大会盛り上がる

健康づくりサポーター 柏田 知甫

○今日このごろ忘れた事を忘れたり

健康管理 岸本 繁勝

○採りごろのすいかカラスに先こされ

健康管理 園田 操

○タバコ止め酒を止めたら何もなし

健康管理 森吉 邦生

○夏山や隆気みなぎる深みどり

国際情報 原田 榮子

○外食はすまじ一汁一椀目刺焼く

写真入門 大山 詔子(水穂)

若者との交流会

健康づくりサポーター 神田 洋子

去る六月十九日、周望学舎生と北九大生との交流会に参加した。

指導者の「笑顔で楽しく。若者からはエキスを！周望生はスパイスを振りかけて！」という話に始まり、四班に分かれて自己紹介。孫のような年齢の文学部人間関係学科二年生の学生諸子。

その後、彼等とフォークダンスと卓球に興じた。ロシア民謡のダンスに汗を流し、卓球も双方初心者も多く、玉をピョンポンとしながら笑顔と歓声が会場にあふれた。ゲーム後の交流会では、「祖父母世代の周望生が前向きで若者に劣らぬ元気に驚いた！」の声頻り。日本の次世代を担う彼等に「今を大切に。目標、目的を持ってしっかりと生きて欲しい。」と私は語った。

大変楽しい有意義な交流会であった。ただ、北九大生四十名に対し、周望生十七名は些か淋しかった。次回は多数の参加を望みたい。



出逢い坂

書道入門 上田 初江



ざくろの、オレンジ色のきれいな花が私達の入学を喜んでくれた。あれから早や一年が過ぎた。コースの学習と様々な年間行事を無事終える事が出来、最近、二度目のスポーツ大会に参加したばかりである。登校日は、近くのJRを利用し駅まで行く途中に「出逢い坂」という坂を通る。学生さんや社会人の方達と一緒に電車に乗るのもまんざらではない。スポーツ大会には、私はプログラムの最後の炭坑節の踊りに参加した。近頃自分で言うのもおかしいけど「炭坑節」の踊りが上手になったような気がする。総合体育館のフロア一杯に人の輪が出来た。曲が流れ踊りが始まった。そして昨年の同級生の顔がちらほら……。踊りながら握手をしたり、目と目で挨拶をしたり。心も踊る瞬間だった。地元でない私がこんなに炭坑節を上手に踊れる様になったのは今まで善か人達に出逢ったお陰である。これからも沢山の人や、善か事に出逢える事を楽しみに一歩一歩、歩んで行こうと思う。

里親

陶芸 飯尾 秀幸

愛犬(バグ)を亡くして一年。悲しみはもう御免と、飼うことを諦めていたが家内と二人暮らしの身、「やっぱりほしいね、寂しいね」と思いは同じ。さっそくペットショップ巡りを始めた。が、思いの外バグ犬が見つからない。そんなある日、「当方、病氣入院の為マルチーズを手離さざるを得なくなりました。里親を探しています。」の張り紙が。バグが欲しいのは山々なれど、このまま里親が見つからないと管理センター行、その挙句……。思い悩んだ末、我が家の一員になつてもらうことに。

それから八ヶ月。マルチーズ・ハヤトのおかげで日々癒され、家内との会話も多くなったよう。出逢いに感謝感謝。



○場違いの書道入門老い道楽

書道入門 植木 淳介

○OだけどLも着てみる試着室
暮らしと環境 田原 喜代松

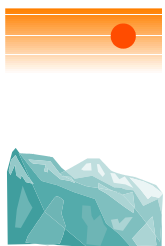


○夕暮れ道 ふと目にした 愛舞
淋しさ忘れて そっと手を出す
歴史に学ぶ 惠藤 精一郎

○亡き夫は 共働きの 在りし日に
お前は戦友 労わりてやう
国際情報 出畑 ミツ子

○孫を見て 学徒兵にて 遊さし兄
想いつのれど 面影うすし
心と身体 健康 山元 ミツエ

○しげさや 裾野は白き 露立ちて
夜明けの空に 五岳が浮かぶ
地域ふれあい 馬淵 恵美子





おいкуつですか。

社交ダンス入門 吉本 照

一昨年、濟州島のツアーに行った折、数人のシニアグループを追い越した。「奥さくん、おいкуつですかア」と声が追ってきた。

聞こえないふりして先に行く。

英会話のカルチャーセンターの受講生の一人が、「先生おいкуつですか」「結婚してるのですか」と聞く、やおら先生「日本人だけです。そう云った不様な質問を外国人は決してしません」とぴしやり。最近個人情報保護の為、お互いのコミュニケーションが希薄になった。

周望学舎でも、確か十年前は名簿に年齢と住所を記載されていた。学舎の昭和も終わったのだろうか。いくつになっても気持ちは若く、笑顔と健康「気は長く、心はまるく、腹立てず、口つつしめば命ながらむ」をモットーに。

亡き母に似てきた私

歴史に学ぶ 兼久 和子

ある日、病院の待ち合い室で見知らぬ女性から話しかけられました。「失礼ですが貴女のお母さんは昔戸ノ上通りでお店をしていませんか？」と尋ねられ一瞬戸惑いましたが「はい」と答えると「やっぱり、貴女がお母さんに似ているのでもしやおもつたのです。」昔の母を知っている方から声をかけられるなんて何と云う偶然でしょう。

私は子供の頃から父親似と云われずとそう思い続けて来ました。

亡き母は物静かでやさしく芯は強い情熱を秘めた女性だったと思います。年齢を重ねてきた今、母に似ていると云われてた事は嬉しい事です。ところで、長女は父親似です。将来は私に似て来るのでしょうか、娘の顔を眺めては思うのです。そして、偶然の出会い遺伝子の不思議さを感じております。



後期高齢者となって

生活情報 大田黒 正四郎

子供の頃出会った六、七十歳代のおじいさんは、そのものズバリのお年寄りであった。

ところが、自分がその年代になってみると意外と気持ちも格好も若い自分に驚く。退職後の自由時間は、余生ではなく華々しい第二の人生と感じ意気込んだものの、これといった趣味もなく、どうしたものかと思案していた矢先に「周望学舎」の存在を知った。以来、長年に亘り勉学に励んできたものの一向に賢くなった気がしない、老化によるぼけと否定し、相変わらず若い心積もりでいたが、「後期高齢者」の通知を貰い、さすがに年齢を感じた。

人生平均八十余年、そろそろ浮かれてばかりいないで「老い支度」を始めなさいと示唆しているようである。そ



うだ合間を見て家財の片づけ、遺言の作成をと思いを馳せたら一遍に気がめいつてきた。「ヤッパリ楽しく人生を送ろう、もうそう永いもんじゃなし。」

なぞなぞ



① 話すことがとても好きな道具は何？

② おじいちゃんとするスポーツは？

③ キスはキスでも、一旦くつつくとなかなか離れないキスって何？

【答え】① シャベル② ソフトボール(祖父とボール)③ ホッチキス

旅の思い出



旅籠「つたむら屋」学生時代に秋篠宮様と紀子様らの御泊まりになった宿

生活情報 末吉 松男

何故、この宿を知ったのかと言うと、三年前の秋、中央アルプス登山で激しい雷雨のため登山を断念し木曾路の観光に切り替えた。馬籠(まごめ)、奈良井・妻籠(つまご)の宿を散策し、観光案内所で紹介されたのです。

以来、アルプス登山後に疲れを癒す宿となりました。今年の夏で七回目です。

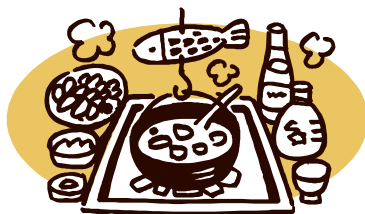
障子張りの潜り戸には、屋号「旅籠つたむら屋」と書かれており、料理は、魚・野菜等全て自家製で、左党には嬉しいどぶろくが付き、信州サーモンの

刺身と山女魚の塩焼きは最高です。冬場の囲炉裏も最適です。

今年三月、周望学舎の友人と木曾路を散策し、宿泊しました。

馬籠は、島崎藤村の生誕地で、記念館も見応えがあります。

木曾路を歩いてみませんか。心が癒されます。



東欧を旅して

地域ふれあい 幸田 睿一

今年四月にブルガリアとルーマニアへトルコ経由で八日間の旅に出ました。ブルガリアは、大相撲の元大関琴欧州の故郷であり、ブルガリア正教の総本山リラの僧院は、山中奥深くひっそりと建てられている。首都ソフィアのボヤナ教会と共に美しいフレスコ画で超有名。カザンラクは六月上旬頃バラ祭が開催され、香油用として女性美に貢献。日本でも有名なヨーグル

トの産地でもあります。

ルーマニアは、首都ブカレストには一九七〇年代に故チャウシェスク大統領が巨費を投じて造らせた巨大宮殿は、国民の館として一般公開されている。他に大主教教会、凱旋門、ヘラストラウ公園がある。中央部には、吸血鬼ドラキュラのモデルとなったブラン城、ビエルタンの要塞教会、シナイアの僧院ペレシユ城等、見どころも多い。

両国は、社会主義国家としてのイメージが強いが、体制が変わり、二〇〇七年にEU加盟を果たしている。

人柄は、素朴・色白で背も高く美人が多く、物価も安いので、皆樣ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。



博多の歴史(寺町悠々散歩)

陶芸 山本 眞路



現役時代の一時期、数年間の福岡支店勤務の機会を得た。休日には「博多区内」の寺町周辺を散策して歴史を訪ね歩くのが楽しみの一つであった。

「博多」と言う地名は奈良時代(八世紀)には既に登場し、二千年以上の歴史ある日本最古の都市である。戦国時代、この地を巡って度々激しい戦乱を繰り返し、戦火に見舞われたが、その都度目覚ましい復興を遂げてきた。この裏には、博多商人の逞しさを窺い知る事が出来る。

さて、御供所町周辺には「東長寺」(弘法大師が建立)・「聖福寺」(采西禅師創建の日本最初の禅寺)等々国の史跡として指定されている有名な寺院が数多くあり少し足を延ばすと、今が旬の大河ドラマ「軍師官兵衛」の黒田家代々の菩提寺「崇福寺」が在る…。
時候の良い折に博多のお寺巡りもご一考を…。

大きな数と小さな数

花と野菜づくり 西水 武雄



インターネットの百科事典のウィキペディアの国際単位集という項目には、大きな数は10の24乗までの接頭辞が掲載されている。それは一・十・百・千・万(こ)までは10進法であるが、その後は一百万毎に億・兆・京・垓・秭・穰・溝・澗・正・載・極・恒河沙・阿僧祇・那由他・不可思議・無量大数と続くが、無量大数となると0が68個も並ぶ。

小さな数もマイナス24乗まで紹介されているが分・厘・毛・糸・忽・微・纖・沙・塵・埃・渺・漠・模糊・逡巡・須臾・瞬息・彈指・刹那・六徳・虚空・清浄の順である。清浄は小数点以下に0が21個連なる。

ところで、現在残っている質量を示す原器は国際キログラム原器だけであり、後の単位は物理法則を使って定義されている。それによると1mは、1秒の2億9979万2458分の1の間に真空の中を光が進む距離とされる。従って100m競走は光が299万7924分の1秒の間に進む

距離を走ることになり、選手は知らぬ間に光とともに競争しているのである。

100キロウォーク…

1センチの重み

ふるさとの文化 平田 宣章



十九時間〇五分四十三秒 昨年の行橋く別府百キロウォーク十四万四千歩の苦行の記録である。

深夜、歩道を歩く横を大型車がけたたましい金属音を残して行く。あちこちで犬の鈍い遠吠えが聞こえる。それ以外何も耳にしない夜道を後ろから無言で追い越してきた風の盆恋女の蛍灯が、みるみる遠ざかる。一人旅の侘しさを感じつつ、歩幅が一センチ広がると二千歩も減るのにと親を恨み、「俺は何のために歩いていいのか」と自問：自答は出てこない。そして前日家を出る時、古女房が言った「アンポンタンだねー」が思い出される。足裏のマメの痛さに堪えて早朝の七時ごろゴールするであろう勇姿を思い浮かべながら只々ひたすらに歩行する。

シニアスポーツを楽しもう

健康づくりサポーター 小野村 浩

総合体育館の個人利用日を活用した、高齢者のスポーツクラブを立ち上げて十三年になる。年長者施設利用証で二時間まで無料だ。

健康であることに生甲斐を感じながら、ソフトバレーボールを楽しんでいる。ボールは衝撃の少ないゴム製。男女の平均年齢は七十二歳。女性軍にママさんバレーの現役がいて指導も良い。強烈なスパイクはしないなどソフトなゲームにして、初心者でも取り組み易くなり楽しくプレーしている。別途、高齢者の為のスポーツクラブを立ち上げたい。シニアビーチB・ファミリーBなど、取り組み易い種目を考えている。関心ある方の連絡を待っている。プレーを楽しみながら、股関節や膝が柔軟になる。併せて健康体力をつけよう！



骨まで愛します(二)

心と身体の健康 瀧上 篤也

幼馴染みの女性から紹介で知り合った時の彼女は理知的で女優の司葉子似でした。私と彼女は心理学や精神分析学や社会思想史や人生論など沢山の本を読み、その読後感を手紙でやりとりしたり、ニューウェーブのフランスの映画を観たり、歌声喫茶でロシア民謡を歌うなど、プラトニックラブの間柄でした。私たちの共通の意識となったのは、著名な脳外科医で精神分析学者ブライアン・L・ワイスの著書「魂の伴侶」に書いてあった、愛し合う者は現世で結ばれなくとも、来世に生まれ変わって必ず結ばれる、という命題でした。

私たちはこの命題を信じ生きてきたのかも知れません。そして、三十八年後に再会し結ばれました。